

第4回「君津イオンの森づくり」

林野庁 関東森林管理局 千葉森林管理事務所

令和5年10月28日、秋晴れの青空が広がる中、千葉県君津市戸崎国有林にある「君津イオンの森」において、第4回目となる森づくり活動を実施しました。

「君津イオンの森」は、令和2年12月に林野庁国民参加の森づくり活動における「モデルプロジェクトの森」として、公益財団法人イオン環境財団と関東森林管理局が君津市長立ち合いの下、協定を締結し森の再生を通じ地域創生に寄与するため、大学、NPO、関係機関、専門家をはじめ、森と人との関わりを創出し地域ボランティアとともに取り組むことを目的に植樹活動や保育活動を行ってきました。

今回は、枯れたり動物による食害等で苗木が消失している箇所、君津の花であるミツバツツジのほか、コナラ、ケヤキ、ヤマザクラ、イロハモミジの5樹種、1,000本の苗木をイオングループの新入社員をはじめ、大学生、地域ボランティアの方々など総勢450名により丁寧に植樹しました。

今後も、地域ボランティアや大学、NPOなどと連携し、植樹や保育作業以外にもさまざまな環境活動が予定されています。



開会式



参加された総勢450名の皆さん



植樹活動の様子



植樹活動の様子